

# 新年の抱負



## 馬市まつりを盛り上げる

三上 奈保美さん(柏)〔昭和41年生〕



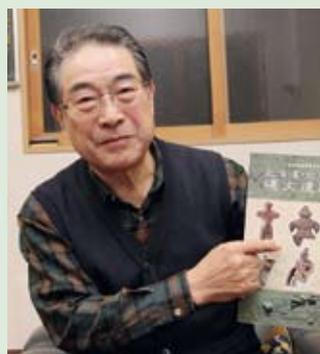
「デイサービスセンターかしわ」で介護福祉士をしています。おもに利用者の送迎や介護をしています。また利用者の日常生活に関することなど家族の相談にも応じたり、家族の

負担を軽減できるように、寄り添う介護を心がけています。仕事では、利用者の方に「今日も一日楽しく過ごせた」と思えるように笑顔を忘れず接しています。

「馬市まつり」には毎年、桑寿園チームで参加し、3年連続「踊り大賞」をいただいています。今年も工夫を凝らした衣装や踊りで観客の皆さんを楽しませたいと思います。

## 縄文遺跡群を世界遺産に

野呂 修身さん(木造)〔昭和17年生〕



「つがる縄文の会」で亀ヶ岡石器時代遺跡、田小屋野貝塚をはじめとする「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録を目指すための活動をしています。

亀ヶ岡遺跡まつり、中・高校での出前授業、フォーラム開催などを続け、少しずつですが機運が高まってきたと感じています。昨年は、ユネスコへの推薦が先送りされ残念でしたが、行政と連携を密にして、市民みんなで盛り上がるよう役割を果たしたいと思います。新しい年が世界遺産登録への道筋が見える年であることを願います。

## おいしいトマトと味噌を作る

渋谷 百合子さん(稲垣町)〔昭和29年生〕



米とトマトを栽培しています。トマト栽培を始めて20年になりますが、自然が相手なので毎年1年生みみたいな気持ちで、トマト農家の人から話を聞いて勉強しています。夏のハ

ウスでの農作業は暑くて大変ですが、おいしいトマトができればうれしいです。冬場は加工センターで「かあちゃんみそ」を作っています。

昨年は元気に仕事ができ、孫も3人になって充実した一年でした。家族には感謝しています。今年も健康に気をつけて、おいしいトマトや味噌作りをがんばりたいと思います。

## ダンスが元気の源

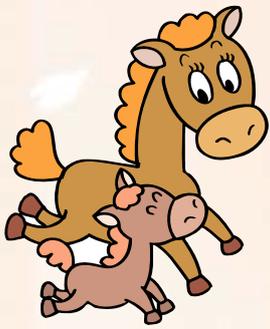
成田 富江さん(富苑町)〔昭和5年生〕



若い頃からダンスが好きで、今でも老人クラブや同年代の仲間と一緒にあちこちの温泉へ行って踊っています。ルンバから民謡まで何でも好きで音楽のテー

プは100本位持っています。依頼があれば教えたりもしています。踊りは本当に楽しいので、今年も自分で行けるところには出掛けて行って、仲間と踊りを楽しみたいと思います。

健康のため、規則正しい食生活と睡眠を心がけています。字を書くことも好きで、日記を書いています。これからも続けていきたいと思っています。



# 2014年 午年 年男・年女が語る

今年の干支は「午」です。年男・年女の方々を代表して市内の7人の方に新年の抱負を語っていただきました。皆様にとって良い年でありますように。

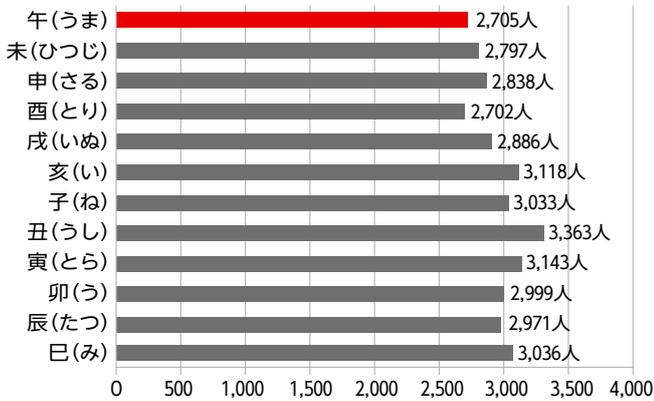
## 「午年」生まれの人口は2,705人

つがる市で平成26年に「年男・年女」となる「午年」生まれの人は2,705人で、十二支の中では2番目に少ない人口となっています。

年代別では平成14年生302人、平成2年生254人、昭和53年生328人、昭和41年生362人、昭和29年生540人、昭和17年生482人、昭和5年生399人、大正7年生38人となっています。

(平成25年12月6日現在の住民基本台帳)

### つがる市干支別人口



## 顧客をつかむオペレーター目指す

網野 静香さん(森田町)〔平成2年生〕



昨年10月にできた「つがるコンシェルジュセンター」に勤めています。今は電話オペレーターの研修期間で、発声練習やロールプレイング、パソコンの研修などに励む毎日です。

社員の年齢層は幅広いですが、みんな仲良くいい雰囲気です、すぐに馴染むことができました。

電話は、顔は見えませんが姿勢や表情が大切。イントネーションや言葉の抑揚、敬語など課題はたくさんありますが、講師や仲間から評価されれば成長を実感できます。初心と基本を忘れず「この人話しやすい」と思われ顧客ができるオペレーターを目指して努力していきたいと思っています。

## 励まし合えるチームをつくる

須藤 滉也くん(木造)〔平成14年生〕



瑞穂小学校5年で、「木造FC」でサッカーをやっています。5歳上の兄に憧れて1年生からサッカーを始めました。昨年は試合であまりいい結果を残せず悔しい思いをしました。

時期キャプテンを任されたので、仲間がミスしても励まし合えるチームをつくっていきたくです。しっかり声を出して一生懸命練習に励み、県大会優勝を目標にがんばります。

今年は6月にワールドカップブラジル大会があるので楽しみです。もちろん日本代表を応援するし、世界の一流選手のプレーを真似したいと思っています。

## 安定した農業経営を確立

鳴海 春樹さん(牛潟町)〔昭和53年生〕



家族で米、ニンニク、ニンジンなどを作っています。ニンニクは9月に植え、冬を越して7月頃収穫します。手作業なので大変ですが、スプリンクラーや氷温庫など設備には恵まれていると思います。

氷温貯蔵することで発芽を抑えるとともに、鮮度やおいしさを保てるのが車力のニンニクの特長です。まだまだ勉強中ですが、周りに同年代の先輩方がいて、いろいろ教えてもらえるので心強いです。

これから農業は、海外の輸入作物との競争の時代なので、栽培技術を磨いて品質を高め、水稲と野菜の複合経営を確立させたいと思っています。